

3. 第33期第3回研究会「臨時災害放送局の社会的機能と課題」（ジャーナリズム研究・教育部会企画）終わる

日 時：2012年2月28日 午後3時～5時15分

場 所：龍谷大学大宮キャンパス 南翼105教室

問題提起者：松浦 哲郎（龍谷大学）

司 会：小黒 純（龍谷大学）

参加者：27名

記録執筆者：小黒 純（龍谷大学）

東日本大震災にともない、臨時災害放送局（以下、臨災局）が26局開設され（研究会開催時）、その役割に社会的な関心が注がれた。本研究会では、それらの放送局の開設経緯、現状、課題などを整理し、今後に活かすべき教訓や将来の展望について議論を行った。

問題提起者は、臨災局の制度的位置づけに触れた後、各局の運営体制、財源、放送内容などについて概説した。また、臨災局の相次ぐ開設とその後の運営継続に寄与した、全国各地の放送関係者らによる自発的支援に言及した。一方、臨災局の多くが抱える課題として、役場職員と放送局スタッフとの連携不足などを挙げた。

会場からは、臨災局を含むコミュニケーション回路を非常時に確保し機能させるには、平時からの意識的な取り組みが肝要、とする旨の意見が続いた。また、既存の枠組みを超え、放送・通信をめぐる新たな環境・制度の構築を視野に入れた議論の必要性が指摘された。関連な意見交換が続いたため、当初の予定をやや延長し閉会した。